



横浜市立恩田小学校 発行 平成29年 11月1日
学校だより 11月号

多くの声援に支えられて

校長 古屋 澄人

「校長先生、僕たちがみんなをリードしますから大丈夫です！」と、運動会の延期が続いているなか、応援練習を続けている応援団の子どもからの力強い言葉を聞きました。今年の秋季運動会は、ようやく 10月 24 日（火）に実施することがで



きました。保護者および地域の皆様には多くのご配慮をいただきました。また、当日は、平日開催にもかかわらず、多くの保護者・地域の皆様、そして、自治会役員や民生・児童委員の皆様に来校いただき、子どもたちへのあたたかいご声援と多くの拍手をいただきましてありがとうございました。

さて、今年の運動会は、「結ぶ」「未来へつなげ！きずなのバトン」をスローガンとして子どもたちは取り組んできました。個人競技や団体競技では、子どもたちが全力でゴール目指して走る姿、仲間と協力し合いながら取り組む姿が印象的でした。学年を問わず仲間を応援している姿は、子どもたち一人ひとりの思いが「結ばれた」のではないかと感じました。団体演技では、1年生は、「たいよう」をイメージし、はじけるような笑顔が印象的でした。2年生は、個々の技を伸ばすために繰り返しなわとびに取り組んできたことが感じられました。3年生は、旗を使ってリズムに合わせて全員の動きが見事にそろった演技でした。4年生は、本校の伝統的でもある和太鼓を取り入れた演技でした。壮大な太鼓の演奏とその構成は恩田小学校の伝統を見事に継承していました。5年生は、体全体を使って集団の力を結集したからこそ表現できる美しさを感じました。最後をしめくくった6年生は、まさに恩田小学校の顔として心として、この瞬間の演技に気持ちを込めて「ソーラン節」に向かっている様子が表情や動きから伝わってきました。6年生の演技を見ている他学年の子どもたちからも自然と掛け声が聞こえはじめ、会場全体が一つとなったと感じました。また、休み時間を使って取り組んできた「音楽隊」や「応援団」は運動会を一層盛り上げました。高学年の子どもたちは、「放送」「用具」「審判」などの係活動を受け持ち、効率よく運動会を進めました。それぞれの責任を自覚し取り組んできた子どもたちの活躍を認めてあげたいです。子どもたちは、それぞれの学年の演技や競技を見合うことで、互いの頑張りを認め合い、あこがれの気持ちを持ったことに違いがありません。子どもたち同士が未来にむけて絆というバトンをつなげていくことができたのではないかと感じました。

準備から当日にかけて、PTA 役員の皆様、実行委員や係活動として運動会を支えていただいた皆様、そして、早朝より準備から後片付けや子どもたちの安全管理にご尽力いただきました「ふるさと～おやじの会」の皆様、保護者・地域の皆様に心より感謝申し上げます。

子どもたちの豊かな学びを支えるものとして、家族・地域の皆様と学校との連携は欠かせません。今年の運動会のスローガンは「未来へつなげ！きずなのバトン」でしたが、子どもたちの成長を支える多くの皆様の絆というものを感じました。

本校の学校教育目標でもある「自分を見つめ 学びの中での成長を実感し 共に高め合っていく子」の育成に向けて職員一同努めてまいります。引き続き「恩田ファミリー」の一員として本校の教育活動にご支援をいただきますようお願い申し上げます。